

2025年度  
日本女子体育大学大学院  
学生募集要項  
(男女共学)

一 般 入 試
---------

社 会 人 特 別 選 抜
---------------

スポーツ科学研究科 (修士課程)

# 《 目 次 》

<b>大学院の目的</b> .....	P 3
---------------------	-----

<b>アドミッションポリシー</b> .....	P 3
--------------------------	-----

## **2025年度 学生募集要項**

1. 研究科・専攻および入学定員 .....	P 4
------------------------	-----

2. 出願資格 .....	P 4
---------------	-----

3. 入試日程（一般入試・社会人特別選抜） .....	P 5
-----------------------------	-----

4. 出願手続 .....	P 5
---------------	-----

5. 選考方法（一般入試） .....	P 7
---------------------	-----

（社会人特別選抜） .....	P 8
-----------------	-----

6. 合格発表 .....	P 9
---------------	-----

7. 入学手続 .....	P 9
---------------	-----

8. 個人情報の取り扱いについて .....	P 9
------------------------	-----

<b>教育職員免許状の取得について</b> .....	P 1 0
-----------------------------	-------

<b>ハイフレックス型授業について</b> .....	P 1 0
-----------------------------	-------

## 大学院の目的

本学大学院スポーツ科学研究科は、スポーツと関連する諸々の事象に、科学的に対応できるような学術の理論と応用を研究教授し、高度な専門性を持った指導者、研究者、専門家の育成を行い、我が国のスポーツ科学水準の向上と発展に貢献することを目的としています。

また、このような教育目標のもと、次のような専門的能力をもつ人材を養成したいと考えています。

### <育成を目指す専門的能力>

- (1) 学校（幼稚園・保育所を含む）などでのスポーツ・ダンス指導の専門的能力
- (2) 生涯スポーツ指導の専門的能力
- (3) スポーツ事業に関するマネジメントの専門的能力
- (4) チャンピオンスポーツに関する指導・支援の専門的能力
- (5) 舞踊家としての専門的能力
- (6) スポーツ科学分野における研究支援能力

## アドミッションポリシー

本学大学院スポーツ科学研究科では、スポーツ・体育・舞踊に関連する諸々の事象について広い視野に立った研究能力または高度な専門性や実践能力を身につけ、それらを広く社会に還元する人材養成を目的としています。このために、学士課程で培われた専門領域に関する基礎力を有し、より一層の専門性の向上を図る学術的関心および意欲のある人を求めています。

# 2025年度 学生募集要項

## 1. 研究科・専攻および入学定員

研究科	専攻	入学定員	修業年限
スポーツ科学研究科	スポーツ科学専攻	15名（昼間・男女）	標準2年

## 2. 出願資格

### 一般入試

次の（１）～（３）のいずれかに該当する者

- （１）学校教育法に定める大学を卒業した者および2025年3月卒業見込の者
- （２）学校教育法施行規則の規定により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者および2025年3月31日までにこれに該当する見込の者
- （３）本学大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で22歳に達した者および2025年3月31日までにこれに該当する見込の者

### 社会人特別選抜

社会人特別選抜は、大学院における社会人の再教育に対する社会的要請に応えることを目的とする。

次のいずれかに該当し、2年以上の社会的経験を有する者および2025年3月31日までにこれに該当する見込の者。ただし、在学中の就業についてはカウントしない。

- （１）学校教育法に定める大学を卒業した者
- （２）学校教育法施行規則の規定により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
- （３）本学大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で24歳に達した者および2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者

なお、入学者選抜においては体育・スポーツ関係企業、あるいは関連分野行政職、教職の在職者または経験者に優先的な配慮を行う。

社会人特別選抜で入学した者のうち、現職教員として引き続き勤務を継続する者に限り、特講（講義）科目の受講方法として「ハイフレックス型授業（10ページ参照）」を選択することができる。

<注1> 出願をご希望の方は、出願前に入試担当教員と基本的な内容について情報交換を行ってください。情報交換は面談を原則としますが、遠方の場合は電話やメールで行うことも可能です。入試担当教員との連絡方法については、入試・広報課にお問い合わせください。情報交換は、大学院での研究内容について理解を深め、入学後スムーズに研究活動を行うためのもので、入試の選考には反映されません。

<注2> 一般入試・社会人特別選抜ともに出願資格(3)によって出願する場合は、事前に資格審査を受ける必要があります。あらかじめ入試・広報課にお問い合わせのうえ、本学が必要とする書類を以下の期日までに提出してください。

**I期 2024年 8月 2日(金)**

**II期 2024年12月24日(火)**

資格審査の結果は、出願開始日の一週間前までに入試・広報課より本人宛に通知します。  
(資格審査で承認されていない場合は出願できません)

<注3> 外国人留学生については、原則として下記のいずれかに該当する者としてします。

- ① 「日本留学試験(日本語) ※記述も含む」で250点以上
- ② 「日本語能力試験」のN1に合格

### 3. 入試日程(一般入試・社会人特別選抜)

区分	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期限
I期	2024. 9/13(金)~9/20(金) 郵送必着	2024. 9/28(土)	2024. 10/ 3(木)	2024. 10/17(木) 郵送必着
II期	2025. 2/10(月)~2/14(金) 郵送必着	2025. 2/20(木)	2025. 2/27(木)	2025. 3/13(木) 郵送必着

### 4. 出願手続

- (1) 所定の振込依頼書(D票)を使用して銀行から入学検定料(33,000円)を振り込んだ後、以下の出願書類を出願用の封筒に入れ、**簡易書留速達郵便で送付**または**入試・広報課窓口**に持参してください。

#### ① 入学願書(裏面の履歴書を含む)

必要事項を漏れなく記入してください(受験または修学にあたり大学に伝えておきたい健康上の事由欄については、有無のいずれかに必ず○をつけ、有の場合には、現在の症状や治療状況、注意すべき点等を記入)。また、写真(出願前3ヶ月以内に撮影したもの。正面上半身脱帽。カラー・白黒どちらでも可。縦4cm×横3cm)を貼付してください。

## ② 調書

これまでに実施した研究および大学院で実施したい研究について記入してください。

## ③ 受験票・写真票

表裏面とも必要事項を記入し、入学願書と同じ写真(2枚)を貼付してください。また、写真票(B票)に銀行の取扱印があるかどうか確認してください。

## ④ 成績証明書

出身大学において作成されたもの。大学卒業見込でⅠ期に出願する場合は3年次終了まで、Ⅱ期に出願する場合は4年次前期までの成績が記載されたものとします。

一般入試・社会人特別選抜ともに出願資格の(2)により出願する場合は、出願資格を証明する書類を提出してください。

## ⑤ 卒業(見込)証明書

出身大学において作成されたもの。

## ⑥ スポーツ・ダンス歴および指導歴調書

## ⑦ 受験承認書(社会人特別選抜のみ)

官公庁・学校・一般企業等に在職中(非常勤、アルバイトを除く)で、入学後も引き続き勤務を希望する場合は、当該所属長の受験承認書を提出してください。

※自営業等の場合は、事前に入試・広報課へお問い合わせください。

## ⑧ 宛名ラベル用紙(2片)

郵便番号・住所・氏名を記入してください。

## ⑨ その他

外国人留学生で受験を希望する方は、以下の書類を提出してください。

(ア) 外国人登録証明書または在留カードのコピー

(イ) 身元および財政保証書(所定用紙)

保証人は日本国籍を有し、入学後も引き続いて保証人となりうる方。

所定用紙は入試・広報課に請求してください。

(ウ) 以下のいずれか(コピー)

・「日本留学試験(日本語)※記述も含む」の250点以上の成績通知書

・「日本語能力試験」のN1の合格証明書

(2) 出願にあたっては、以下の点に注意してください。

① 出願書類に不備があるもの、および出願締切後に本学に到着したものは受理しません。

② 一度提出した出願書類・納入した入学検定料は、いかなる理由があっても一切返還できません。

## 5. 選考方法

### 一般入試

筆記試験、口述試験および出願書類による総合的審査

#### 試験科目

区分	科目	内 容
筆記試験	外国語 * (50点満点)	英語 (辞書使用可、ただし電子辞書は不可)
	専門科目 (100点満点)	以下の科目のいずれかを出願時に選択 (問題は各科目2問) ① スポーツ生理学                      ⑧ スポーツ心理学 ② スポーツ医学                         ⑨ スポーツ運動学 ③ スポーツ栄養学                      ⑩ スポーツコーチング論 ④ スポーツマネジメント              ⑪ スポーツリハビリテーション ⑤ スポーツ教育学                      ⑫ 舞台芸術論 ⑥ 体育・スポーツ史                    ⑬ 舞踊教育学 ⑦ 健康科学
口述試験	研究計画などについての試問 (1人15分程度)	

※ 外国人留学生は、英語の試験に代えて「日本語小論文」の試験を選択できます (辞書使用可、ただし電子辞書は不可)。

#### 試験時間割 (I期・II期共通)

時 間	試 験 科 目
10:00~11:00	英 語
11:10~12:10	専 門 科 目
12:20~	口 述 試 験

※ 受験上の注意

- ① 受験票、筆記用具を持参してください。
- ② 当日は、試験開始15分前までに入試・広報課窓口にお立ち寄りください。
- ③ 口述試験の開始時刻は、社会人特別選抜の受験者数により変更となる場合があります。

## 社会人特別選抜

筆記試験、口述試験および出願書類による総合的審査

### 試験科目

区 分	内 容
筆記試験 (100点満点)	スポーツ科学に関する論述 (外国人留学生は辞書使用可、ただし電子辞書は不可)
口述試験	研究計画などについての試問(1人15分程度)

### 試験時間割 (I期・II期共通)

時 間	試 験 科 目
10:00~11:00	筆 記 試 験
11:10~	口 述 試 験

※ 受験上の注意

- ① 受験票、筆記用具を持参してください。
- ② 当日は、試験開始15分前までに入試・広報課窓口にお立ち寄りください。



## 6. 合格発表

合格者には合格通知書と入学手続書類を、不合格者には不合格通知書を合格発表当日に速達郵便で発送します。なお、電話による合否の問い合わせには応じません。

## 7. 入学手続

入学手続要項に従い、期日までに納付金を納入し、手続書類を提出してください。

### 納付金の明細とその納期一覧表（2024年度参考）

項目 \ 納付期限	入学手続時に納付するもの	後期(9/30)迄に納付するもの	計
入学金	220,000円	—	220,000円
授業料	345,000円	345,000円	690,000円
実験実習費	45,000円	45,000円	90,000円
学生諸費	2,000円	—	2,000円
合計	612,000円	390,000円	1,002,000円

- ※ 「2025年度納付金」については、決定次第本学ホームページでお知らせします（8月上旬予定）。
- ※ 学生諸費は傷害保険料等に充当します。
- ※ 一度納入した納付金は原則として返還しませんが、**2025年3月31日（月）12:00（厳守）**までに本学所定の入学辞退届により申し出のあった場合に限り、既納の納付金のうち入学金を除く全額を返還します。
- ※ 学費は2年次以降改定することがあります。
- ※ この他に、学外実習等を含む科目については、参加者から必要額を徴収します。
- ※ 本学大学院では、独立行政法人日本学生支援機構の「授業料後払い」制度を利用することができます。詳細は、別紙案内をご覧ください。

## 8. 個人情報の取り扱いについて

受験生皆様の個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」に基づいて厳重に管理し、入学試験の出願・実施・合格発表・入学手続、およびこれらに付随する事項の範囲内でのみ利用します。

## 教育職員免許状の取得について

### 1. スポーツ科学研究科で取得できる免許状の種類・教科

免許状の種類	教科
中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	保健体育

### 2. 基礎資格

- (1) 修士の学位を有すること（大学院に1年以上在学し、30単位以上修得した場合を含む）
- (2) 中学校教諭1種免許状（保健体育）または高等学校教諭1種免許状（保健体育）を取得しているか、または同免許状の取得に必要な科目単位を修得している者。

## ハイフレックス型授業について

ハイフレックス型授業とは、対面方式（教室）・オンデマンド方式（録画配信等）・リアルタイム方式（テレビ会議）など、多様なメディアを活用した複数の方式により授業が提供され、学生が受講方法を選択することができる授業形態である。社会人特別選抜で入学した者のうち、入学後も現職教員として引き続き勤務する者に限り、特講（講義）科目をハイフレックス型で受講することができる。